



金沢区文化協会会報

金沢区文化協会  
編集長 鈴木 稔  
編委 人長助 川信彦  
行会員 783-8760  
発会員 781-9337  
印 刷 幸栄印刷(株)  
716-3366

## 金沢区文化フェスティバル2004

「か音さ輪」は金沢区文化協会所属団体の共同制作により、新しい芸術を創造し、区の文化高揚の一助となるよう結成され、昨年五月に初演したところ多くの反響がありました。今回、第二回目の公演が五月二十九日に金沢公会堂において、大勢の観客の参加を頂いて上演されました。ジャンル別では、金沢の自然をテーマに『すみれの花咲くころ』など四曲のコーラスの熱唱があり、詩舞吟詠では日本人好みの『花と月』そして『桜花』が披露され、筝曲では、初夏の風・夏の海風として野分と織り成す『風三章』や星座スバルにロマンを託す『六連星』の演奏があり、また、朗読では『耳なし芳一』を熱く語りました。日本舞踊では装いも艶やかに、娘



が成長してゆく姿を菊で表現した長唄『菊』の舞、また、特別出演の筝曲は、豊島区からお呼びした阿部幸夫社中で演奏されました。

今回の構成番組は、金沢区に縁の深い照手姫に題材をとり、「か音さ輪」風にアレンジ、地域の子供たちもわらべコーラス隊として参加し『姫小島の照手』を上演しました。荒筋は小栗判官を助けた照手姫が追手に襲われ、侍従川に投げ込まれますが、野島の漁師に助けられます。しかし、



あまりの美貌に漁師の女房が嫉妬し、姫を焼殺そうとするのです。この松葉燻しの松が瀬戸の姫小島の松と言われております。殺されるところを法力に救われやがて判官にめぐり会い、めでたく結ばれるというストーリーなのです。





4月4日お花見日和の中、参加者150名を迎える金沢地区センターで開催。春にちなんだお道貞の取り合わせが見事でした。茶道会の先生方は常にお客様を大切にお迎えして真心のこもった言葉を交わしながら、和やかな一碗を味わつていただきました。

## 第48回 金沢茶道会春季茶会

### 写団“夢”記念写真展



写団“夢”は、写真を通じて会員相互の親睦を図り、写真の知識習得と撮影技術の向上を目指すと共に、地域の文化活動にも参画し、楽しみながら活動しております。

また、写真家片岡順一先生のご指導のもと、各地への撮影旅行を通じて視野を広め、より良い写真づくりをという夢を追い求め続けております。

4月19日から25日までの7日間、横浜市民ギャラリーにおいて、開催し約1500名の方々のご高覧を頂きました。

## 第24回 ふれあい文化祭



4月25日  
文化祭は公会堂にてオーピニングの花笠音頭から始まり、又ロビーでは書道展・写真展・絵画展・生花展等、舞台では民謡・吟詠・舞踊と数十の団体やクラブが参加。フィナーレは星影のワルツで盛会裡に幕を閉じました。

5月1日金沢スプリングコンサートは公会堂にて富岡出身の佐伯葉子さんを中心にプロの皆さんが美しい歌声を披露、又会場の皆さんと日本の歌を合唱、楽しいひとときを過ごしました。席上実行委員の龍華寺の和田住職及び小幡代表から支援金を受けました。



## 金沢歌謡祭



第6回(4月17日)、第7回(7月4日)両日共、200余名の参加。20代から90代までと年齢層も厚く、外国の方も演歌で第3位入賞。日頃の練習の成果を充分発揮し、熱気溢れる歌謡祭でした。

各部門の優勝者は次の通りです。

部 門	第6回	第7回
シニア(60才以上)	並木 征子	丸山 富砂子
スーパーシニア(70才以上)	廣瀬 清治	蜂谷 憲子
なつめろ	菊地 優子	高石 武二
デュエット	曾川・花田組	田辺・尾形組
一 般	城戸 利美	松崎 英樹
グランプリ大会	城戸 利美	前川ひろし

## 第32回 金沢少年少女合唱団演奏会

### 夏空に響け！さわやかな歌声

金沢少年少女合唱団は1973年、区内の小学生を集め、国吉一夫、故・山根一夫、松崎陽治各先生によって始められました。現在は大道小学校コミュニティハウスで月4回、土曜午後に練習をしています。団員は27名で、小学校一年生から大学生までと広範囲に亘っています。

金沢区音楽のつどいを始め、かながわヴォーカルアンサンブルコンテストでの金賞・銀賞を受賞するなど、輝かしい実績を収め、活動中です。



## 金沢スプリングコンサート

8月1日横須賀芸術劇場ベイサイドポケットにおいて開催されました。曲目は、松下耕作の組曲、そしてG・フォーレ作曲の「小ミサ」等、アカペラを主体に、フルート、オルガン等の伴奏も取り入れて演奏されました。特に今年は、昨年卒団したメンバーによる新生合唱団「コール・ミュゼリス」の演奏が華を添えました。聴きに来られた大勢の方々は、そのさわやかな歌声に感動されたようです。

